

No.27 武士と民衆の生活	年 組
	氏名

/8問
-----

次の ( ) に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 鎌倉時代、農民は (①) や公領の領主に年貢を納めていた。

2 地頭と領主との間には、たびたび争いが起こった。幕府は、土地を半分にする、右のような (②) などによって争いを解決するようになった。



3 武士の家は、一族の長である (③) が中心になって子や兄弟などをまとめ、団結していた。

4 領地は (④) 相統で、女子にも分けあたえられたので、女性の地頭も多くいた。

5 常に武芸によって心身をきたえ、名誉を重視し、恥をきらう態度や武士らしい心構えのことを (⑤) という。

6 鎌倉時代、農作業には (⑥) や馬などの家畜が利用され、鉄製の農具がいっそう普及した。

7 鎌倉時代に行われるようになった、同じ畑で米と麦を交互にする農業を (⑦) という。

8 右のように、寺社の門前や交通の便利な場所に開かれ、商品を売買した市を (⑧) という。



鎌倉時代には地頭の力が強まったこと、農業や手工業がさかんになって、各地に定期市が開かれたことをおさえよう。



【解答】

- ① 荘園
- ② 下地中分
- ③ 惣領
- ④ 分割
- ⑤ 弓馬の道(ものふの道)
- ⑥ 牛
- ⑦ 二毛作
- ⑧ 定期市